

並び地蔵

日本で最も有名な仏（像）の 1 つで、子供の守護神である地蔵が並んでいます。地蔵像は沿道、墓所など、日本のどこにも見受けることができ、肩の周りに赤いマントを身につけていることから、簡単に見分けることができるでしょう。天海大僧正（西暦 1536-1643）の百人の弟子の一人一人が、この一列に並んだ百体の地蔵を寄進したと言われていま。亡くなったすべての霊に平穏が訪れるよう、また亡くなった人々が無事に悟りに達することができるよう、祈りを捧げるために造立されたのです。

1902 年、大洪水が憾漫ヶ淵を襲い、慈雲寺を押し流してしまいました。そのため、この列にあったほとんどの像が破壊された。それ以来、訪問者がここの地蔵の数を数えるたびに、地蔵の数が違うようになったといいます。このことから、この地蔵は“化け地蔵”、もしくは“phantom Jizos”と呼ばれるようになりました。